

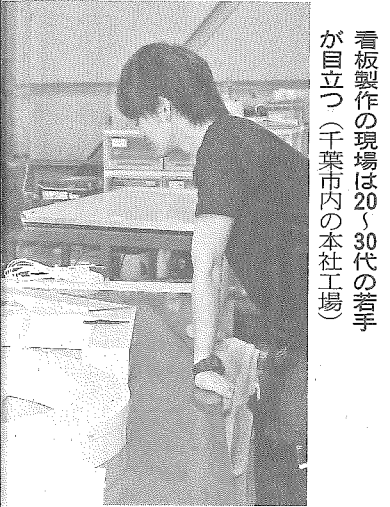
増資と融資で3億5000万円
 株式会社 (東京・渋谷)、ニッ
 デタル (東京・千代田)、三菱UF
 (東京・中央)、日本政策金融公
 庫 (千代田)
 今回調達した資金などを生かし、
 事業投資を強化する。2020年末を
 めど、100万人、契約クリニック1000院

「ポイント」調達資金は「VARK」の機能開
 発、コンテンツ制作、人材獲得に投資する。
Air X / 1億3000万円
 ▶ Air X (エアーエックス、航空輸送 / 東京
 ・新宿 / 手塚究代表取締役)
 ▷ 第三者割当増資で約1億3000万円
 近鉄ベンチャーパートナーズ (大阪市)、マ
 ネットベンチャーズ (東京・港) など

ネスアプリケーションプラットフォームをクリ
 ンクラウドにOEM提供し、クラウドが
 提供するSaaSのテクノロジーとナレッジス
 イートの技術、販売ノウハウを融合する。
 ▶ は資金を調達した企業。カッコ内は業態、本社
 所在地、経営者。▷は調達方法と金額、資金の提
 供元。期間は関係企業による発表を含め、外部に
 明らかになった時期を示す。実際の投資実行日と
 一致するとは限らない。

製作
 協同工芸社 (千葉市) が、高い
 C (消費者向け) 市場の開拓に乗
 り「デザイン表札」が女性を中心に人気
 の底上げにつなげる。

若手がけん引



看板製作の現場は20〜30代の若手
 が目立つ (千葉市内の本社工場)

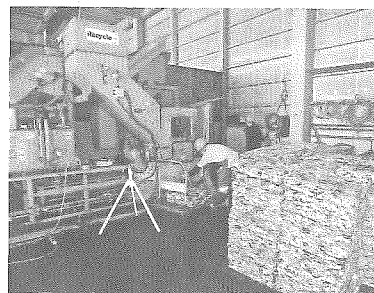
《協同工芸社の会社概要》
 社 千葉市
 業概要 商業施設や飲食店、工場
 などの看板製作
 立 1969年
 業 員 105人
 上 高 20億8000万円
 (2018年12月期)

TKC 経営指標から
 宿泊業は資本集約型の
 産業で、需要に応じた拡
 大・縮小が難しく、稼働
 率や付加価値の向上が欠
 かせない。飲食サービス
 業は労働集約型で、参入
 障壁の低さから他産業か

減
 ⑥ は、人件費が143万4
 000円、設備費が41万
 2000円と、いずれも
 前年を上回り、全体で2
 77万7000円増加し
 た。このため経常利益は
 79万6000円の減少と
 なった。産業別では卸売
 業と小売業で経常利益が
 前年を下回ったが、宿泊

長寿企業の研究

歴史の中で事業ドメインは
 「ヒト、モノ (技術)、マチ
 (空間)」で固まっている。
 地元の人材を発掘し、磨きあ
 げて雇用を増やす。大手重工
 業の下請けとして技術を磨
 き、新事業を生み出す。地域
 資源を活用して街づくりに貢
 献する。「地域資源発掘業」



「モノ」のリサイクル工場

地元認められてこそ

1990年前後のバブル
 期、同社は本社工場の郊外移
 転を計画した。だが移転候補
 先で反対に遭い、跡地の活用
 でも地元で反対され、大きな
 挫折を味わった。「地元から
 認められない企業は存続しえ
 ない」という教訓を得た。
 資源・環境問題が叫ばれ、
 リサイクル事業は静脈産業と
 して光が当たりつつあった
 が、市井ではまだ快く受けい
 れられていなかった。地元の
 理解を得るには、従業員が気
 持よく働けるにはどうした
 定です。
 次回は11月中旬に掲載の予

荒川産業



公益資本主義推進協議会理事

前川 洋一郎氏

創業者の荒川重四郎は12
 0年余り前、会津で生爾 (せ
 いけん) 業と古着・古道員屋
 を始めた。自称「田舎の方 (よ
 るず) 屋」は現在、リサイク
 ル、エンジニアリング、エコ
 ロジ、ヘルスケア、ライフ
 の5領域で17のサービスを営
 む。代々受け継いだ起業家精
 神に加え、経営難から引き受
 けた他社の事業も多い。
 よろず屋といっても、長い
 歴史の中で事業ドメインは
 「ヒト、モノ (技術)、マチ
 (空間)」で固まっている。
 地元の人材を発掘し、磨きあ
 げて雇用を増やす。大手重工
 業の下請けとして技術を磨
 き、新事業を生み出す。地域
 資源を活用して街づくりに貢
 献する。「地域資源発掘業」

1967年神戸大経営卒、松下電器産業現
 パナソニック) 入社。経営企画室長や取締役
 などを経て2007年に退社。関西外大や流
 通科学大、大阪商大大学院で教壇に立つ。公
 益資本主義推進協議会理事。著書に「老舗学
 の教科書」など。

荒川産業の概要

社長	荒川健吉 (4代目)
グループ従業員数	216人 (2019年7月時点)
資本金	2200万円
グループ売上高	35億円 (18年7月期)
設立	1954年
本社	(創業は1893年=明治26年) 福島県喜多方市

らよいか。
 悩んだ末、1992年に日
 本初のリサイクルミュージア
 ム「くるりんこ」を開設。環
 境問題の実態やリサイクルの
 仕事を現物でわかりやすく説
 明した。これまで27年間に地
 元の小学生や婦人会から、企
 業や役所など県外を含めて約
 1万5000人が来館した。
 それぞれがリサイクルへの
 理解を深め、荒川産業のファ
 ンも増えた。ミュージアムは
 荒川産業と地域をつなぐかけ
 橋となっている。

東北活性化研、企業紹介サイト刷新

【仙台】公益財団法人・東北活性化研究セン
 ターはこのほど、東北6県と新潟県内の中小企
 業などを紹介するサイト「ここで働きたい!
 東北・新潟のキラぼし企業」を刷新した。写真
 投稿サイト「インスタグラム」などのSNS (交
 流サイト) を開設したり、企業数を大幅に増や
 したりするなど、若い世代への情報発信を強化

した。
 サイトで紹介する企業は、学識経験者らによ
 る選定委員会が決算内容や事業の独自性、福利
 厚生などの観点から選抜している。2018年度は
 206社だったが、19年度は約300社に拡大し、
 順次増やしていくという。
 これまでは仕事内容などのキーワードでしか
 企業を検索することができなかったが、業種別
 や一覧検索の機能も加えた。インスタグラムを
 はじめ、短文投稿サイト「ツイッター」などの
 アカウントも開設した。